

○ 利 根 導 水 路 事 業 の は た ら き ○



利根導水路事業は、東京都をはじめとする首都圏の水需要の急激な増加に応えるため、利根川水系の総合的な水資源開発計画の一環として、東京オリンピックを控えた昭和38年に着手されたものです。

①首都圏の慢性的な水不足の解消

利根川上流のダム群等により開発した水道用水を東京都・埼玉県・群馬県に供給しています。また、埼玉県に工業用水を供給しています。

②農業用水の取水安定化

利根川中流部に展開する埼玉県・群馬県の約23,300haの水田に必要な農業用水を利根大堰で一本化(合口)して安定的に供給しています。

③隅田川の水質改善

隅田川に河川浄化用水を供給しています。



④内水排除

出水時に武蔵水路に地区内排水を受け入れ浸水被害を低減しています。

都市用水は、昭和39年8月の東京オリンピックに合わせて荒川から緊急取水、昭和40年3月の武蔵水路完成後からは利根川から暫定的に導水を開始しました。

利根大堰完成後の昭和43年4月からは、農業用水・都市用水等の本格的な取水を開始し、令和6年6月20日に取水量が1,000億m³になりました。

詳しくは、利根導水路のホームページをご覧ください。

▶ <https://www.water.go.jp/kanto/tone/>



利根導水



利根導水路のあらまし



【大堰自然の観察室】

利根大堰の1号魚道をのぼる様々な魚の姿を窓越しに見ることができます。『大堰自然の観察室』は、午前9時～午後5時(10月～1月までは午前9時～午後4時30分)の間、土日も含めて開放しています。ただし、洪水時又は業務の都合により開放できない場合があります。



独立行政法人 水資源機構 〒361-0004 埼玉県行田市大字須加字船川4369
利根導水総合管理所

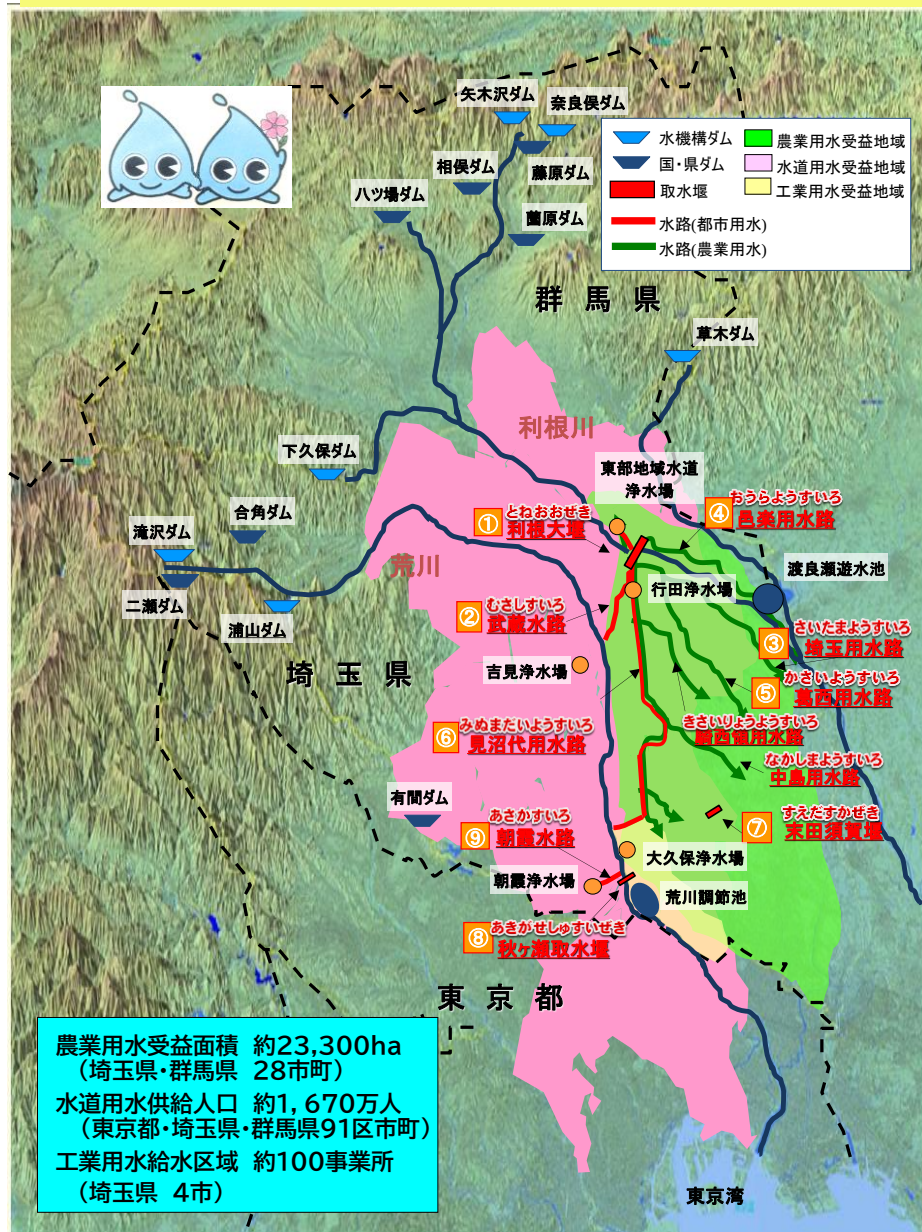
TEL.048(557)1501
FAX.048(557)1506

秋ヶ瀬管理所 ㊦353-0003 埼玉県志木市下宗岡3-20-12
見沼管理所 ㊦346-0111 埼玉県久喜市菖蒲町上大崎760

TEL.048(471)3583
TEL.0480(85)1300

○ 事業区域図 ○

利根導水路は、利根大堰や秋ヶ瀬取水堰、長大な水路施設によって、東京都・埼玉県・群馬県に農業用水・水道用水・工業用水・浄化用水を供給しています。



○ 施設の概要 ○

① 利根大堰 農業用水 水道用水 工業用水 浄化用水

利根大堰(利根川取水施設)は、利根川河口から約154km地点に位置し、ゲート(12門)、取水口、樋管、沈砂池等からなっています。利根大堰では、用水を安定して取水するためにゲートを操作して堰上流の利根川をせき上げ、水位を一定に保っています。

取水口からは農業用水、都市用水、浄化用水として合計最大約134m³/sを取水して、見沼代用水路、埼玉用水路、武蔵水路、邑楽用水路、行田水路に分水します。



② 武蔵水路 水道用水 工業用水 浄化用水 内水排除

武蔵水路(荒川連絡水路)は利根川と荒川を結び約14.5kmの用水路で、埼玉県や東京都の都市用水(水道用水・工業用水)として最大約35.1m³/s、隅田川を浄化する水(浄化用水)として最大約8.2m³/sを導水します。

また、水路の周辺が大雨の時は、周辺地区の河川の洪水や市街地からの出水を取りこみ、荒川に排水する事により浸水被害を軽減します。



③ 埼玉用水路 農業用水

埼玉用水路(右岸連絡水路)は、以前から利根川右岸にあった農業用水路(羽生領用水、葛西用水、稲子用水、古利根用水)へ最大約29.4m³/sの水を送る延長約16.7kmの用水路です。

約10,200haの埼玉県内の水田に安定的に農業用水を供給しています。



④ 邑楽用水路 農業用水

邑楽用水路(左岸連絡水路)は、以前から利根川左岸にあった農業用水路(利根加用水、明利用水、板東用水、北川辺領用水)へ最大約5.1m³/sの水を送る延長約16.6kmの用水路です。他の用水と一緒に右岸で取水して利根川の下を横断しています。

約1,400haの群馬県内及び埼玉県内の水田に安定的に農業用水を供給しています。



⑤ 葛西用水路 農業用水

葛西用水路は、埼玉用水路の始点から約5km地点の葛西分水工で分水する最大約21.7m³/sの農業用水を埼玉県内約7,100haの水田に送るための用水路です。水路延長約25.7kmのうち、上流部約13.5kmを水資源機構が管理しています。

慶長年間(1596年～1615年)に元荒川のため池「瓦曽根溜井」が葛西用水の始まりであり、歴史的な用水路です。



⑥ 見沼代用水路 農業用水 水道用水

見沼代用水路(農業・都市用水併用水路)は、埼玉県内約11,340haの水田に最大約37.4m³/sの農業用水を送るとともに、埼玉県及び東京都に最大約3.1m³/sの水道用水を送っています。

江戸時代中期に、ため池の「見沼溜井」が干拓されたことにより、享保年間(1727年)に見沼に代わる農業用水の供給施設として、水源を利根川に求め新たに開削された歴史的な大用水路であり、騎西領用水路や中島用水路へ分水しています。



⑦ 末田須賀堰 農業用水

末田須賀堰(農業用水水位調節堰)は、元荒川の中流に位置し、元荒川流域の埼玉県内約1,500haの農地に農業用水を供給するために元荒川をせき上げ、水位を一定に保っています。

この地域の農業用水は元荒川の水だけでは十分でないため、見沼代用水の水も利用していることから、見沼代用水路と一体的に管理しています。



⑧ 秋ヶ瀬取水堰 水道用水 工業用水 浄化用水

秋ヶ瀬取水堰(荒川取水施設)は、荒川河口から約35km地点(埼玉県志木市)にある可動堰です。東京都の朝霞浄水場や三園浄水場、埼玉県の久保浄水場が、武蔵水路から荒川に注水した水や荒川の水を安定して利用できるようせき上げ、水位を一定に保っています。また、隅田川を浄化する水(浄化用水)を取水しています。



⑨ 朝霞水路 水道用水 浄化用水

朝霞水路は、武蔵水路や見沼代用水路から荒川に注水された水や荒川の水を秋ヶ瀬取水堰でせき上げて、地下に埋設した水路で東京都朝霞浄水場及び三園浄水場に送るとともに、隅田川を浄化する水(浄化用水)を合計最大約58.6m³/s流しています。



※取水量は、水利権水量で表示